

議第27号

京都市宇津峡公園条例の一部を改正する条例の制定について

京都市宇津峡公園条例の一部を改正する条例を次のように制定する。

令和 8 年 2 月16日提出

京 都 市 長 松 井 孝 治

京都市宇津峡公園条例の一部を改正する条例

京都市宇津峡公園条例の一部を次のように改正する。

第 4 条本文中「、デイキャンプ場及び人工水路」を「及びデイキャンプ場」に改める。

第 8 条第 1 項中「、魚のつかみ取りのために人工水路を利用するもの」を削り、同条第 4 項第 1 号中「5,230円」を「6,270円」に改め、同項第 2 号中「3,140円」を「3,760円」に改める。

別表第 1 備考以外の部分中「休日」の右に「(以下「休日」という。)」を

| | | | |
|-----|------------------------|---|---|
| 加え、 | デ イ キ ャ ン プ 場 | 午前10時から午後 5 時まで。 ただし、7 月 1 日から 8 月 31 日までは、午前10時から午後 6 時まで | を |
| | 人 工 水 路 | 午前10時から午後 5 時まで | |

| | | |
|---------------|---|-------------|
| デ イ キ ャ ン プ 場 | 午前10時から午後 5 時まで。 ただし、7 月 1 日から 8 月 31 日までは、午前10時から午後 6 時まで | に改め、同表備考を次の |
| | | |

ように改める。

備考 コテージ及びオートキャンプ場は、休園日の前日から休園日にかけて、

及び休園日から休園日の翌日にかけて利用することができない。

別表第2 入園料（1人1回につき）の欄中「310」を「370」に、「200」を「240」に改め、同表備考に次のように加える。

- 3 繁忙日（日曜日、金曜日、土曜日、休日の前日、休日その他の施設を利用する者が多いと見込まれる時期において指定管理者が市長の承認を得て定める日をいう。以下同じ。）の入園料の上限額は、この表に掲げる額に5分の6を乗じて得た額とする。ただし、繁忙日の入園料を収受することができる日数は、1の年度（4月1日から翌年の3月31日までの期間をいう。以下同じ。）につき120日を上限とする。

別表第3 コテージの項中「15,710円」を「18,850円」に、「2,090円」を「2,500円」に改め、同表オートキャンプ場の項中「5,230円」を「6,270円」に、「830円」を「990円」に改め、同表デイキャンプ場（テントを持参して利用する場合に限る。）の項中「830」を「990」に改め、同表魚のつかみ取りの項を削り、同表駐車場の項中「1,040」を「1,240」に、「260」を「310」に、「520」を「620」に改め、同表備考3中「1,040円」を「1,240円（3の規定の適用がある場合にあっては、1,480円）」に改め、同備考3を同備考4とし、同備考2の次に次のように加える。

- 3 繁忙日の利用料金の上限額は、この表に掲げる額に5分の6を乗じて得た額とする。ただし、繁忙日の利用料金を収受することができる日数は、1の年度につき120日を上限とする。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、令和8年7月1日から施行する。ただし、別表第1 備考の改正規定及び次項の規定は、公布の日から施行する。

（準備行為）

- 2 この条例による改正後の京都市宇津峡公園条例（以下「改正後の条例」という。）の規定による京都市宇津峡公園の利用に係る料金の承認の申請

その他地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者に当該料金を収受させるために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

(適用区分)

- 3 改正後の条例第8条第4項の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に改正後の条例第6条の規定による許可を受けたものが当該許可の際に支払うこととされている利用に係る料金について適用し、施行日前にこの条例による改正前の京都市宇津峡公園条例第6条の規定による許可を受けたものが当該許可の際に支払うこととされている利用に係る料金については、なお従前の例による。
- 4 改正後の条例別表第2及び別表第3の規定は、施行日以後の利用に係る料金について適用し、施行日前の利用に係る料金については、なお従前の例による。

提案理由

入園料及び利用料金の適正化を図る等の必要があるので提案する。